

目 次

序 文(藤木 明)

I 数学者・倉西正武

数学とともに歩んで：倉西正武・述(都丸 正・記) 2

なつかしき頃の思い出／数学との出会い／リー群とヒルベルト
 の第5問題／エリー・カルタンの数学との出会い／包含系と
 無限次元リー擬群／複素多様体の変形論／特異点論と大域的偏
 微分方程式論／CR(コーシー-リーマン)幾何と核関数
 補注／付記

Memories of Kuranishi (Victor Guillemin) 81

[日本語訳(石井志保子)] 84

弟から見た兄の印象(倉西 茂) 87

倉西先生の下で数学を学んだ日々(難波 誠) 89

倉西正武略歴 96

II 倉西数学への誘い

1 微分方程式の流れと幾何の光

——リー, カルタンから倉西そして現代へ(森本 徹) 98

§ 1 連続変換群 99

§ 2 カルタンの包含系 102

§ 3 カルタン-倉西の延長定理 106

§ 4 ベキ零解析の始まり 107

参考文献

2 コンパクト複素多様体の変形の倉西族(藤木 明) 117

- § 1 複素多様体の変形 117
- § 2 倉西族の存在定理 119
- § 3 関連したいくつかの話題 123
- § 4 倉西空間の記述 125
- § 5 その後の発展 129

参考文献

3 CR多様体(宮嶋公夫) 133

- § 1 CR構造の萌芽 133
- § 2 CR多様体 137
- § 3 境界としてのCR多様体 141

参考文献

4 ヤン-ミルズ接続の幾何と倉西写像(伊藤光弘) 146

- § 1 4次元ユークリッド空間 \mathbb{R}^4 上のヤン-ミルズ接続 147
- § 2 \mathbb{R}^4 上の自己双対的接続 151
- § 3 反自己双対的接続のモジュライと倉西写像 154
- § 4 モジュライ上の L^2 リーマン計量 160
- § 5 ケーラー多様体, 超ケーラー多様体上のモジュライ 161

参考文献

5 一般化された複素構造と変形理論(後藤竜司) 164

- § 1 一般化された複素構造と一般化されたケーラー構造 166
- § 2 変形複体とスカウテンブラケット 172
- § 3 一般化された複素構造の変形 174

- § 4 一般化された倉西族 174
- § 5 対数的なポアソン構造 177
- § 6 一般化されたケーラー構造の安定性定理 178
- § 7 双エルミート構造 179
- § 8 ポアソン-ケーラー多様体の非障害的な変形 181

参考文献

索引 187